

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)		区分		
10	発達障害児支援事業	新規	拡大	
会計区分	款	項	目	所管
一般会計	3	4	4	保健福祉局 総合療育センターひまわり学園 総務課
事務事業の位置付け				
しあわせ倍增プラン2009	番号		事業名	
総合振興計画新実施計画	事業コード	2402	事業名	発達障害(者)支援事業
根拠法令等	発達障害者支援法			
予算要求事業の概要				
内容	発達障害のある幼児及び児童が地域生活を円滑に送れるようにするため、発達障害児の診断・検査、発達支援等を実施し、有効的な支援体制及び支援方法を地域にある保育園や幼稚園等の関係者へ普及させるため、専門職員(心理士、作業療法士、言語聴覚士等)を派遣し指導・助言を行う「出張カンファレンス」を実施するものです。			
目的・目標	<p>&lt;目的&gt; 発達障害児に対して、診断・検査・発達支援等を実施し、効果的な支援体制及び支援方法を確立し、関係機関・関係者へ広く普及させることを目的としています。</p> <p>&lt;目標(平成22年度末)&gt; 「出張カンファレンス」を必要とする市内全ての保育園・幼稚園からの依頼に対応できる体制整備を行います。</p>			
現状と課題	<p>&lt;現状(平成21年度末見込み)&gt; 相談件数の増加に対し、充分に対応できる体制が整っていません。</p> <p>&lt;課題&gt; 1 事業を活用していただくための周知方法。 2 「発達障害者支援センター」等関係機関との連携強化。 3 十分な専門職員(心理士、作業療法士、言語聴覚士)の確保。</p>			
今後のスケジュール	<p>・平成22年度 専門職員の増員による事業内容の拡充 幼児発達支援手法開発モデル事業の実施 家族支援プログラム開発事業の実施</p> <p>・平成23年度 幼児発達支援手法開発モデル事業の実施 家族支援プログラム開発事業の実施</p>			

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	14,047	<積算内訳> 1 発達障害児への支援 14,047 [主な内容] (1) 幼児発達支援手法開発モデル事業の実施 (2) 家族支援プログラム開発事業の実施 (3) 保育園・幼稚園等への出張カンファレンスの実施 (4) 保健センター親子教室への専門職員派遣
	財源内訳	国庫支出金 2,758 一般財源 11,289	
平成22年度	当初予算要求	21,265	<積算内訳> 1 発達障害児への支援 21,265 [主な内容] (1) 幼児発達支援手法開発モデル事業の実施 (2) 家族支援プログラム開発事業の実施 (3) 保育園・幼稚園等への出張カンファレンスの実施 (4) 保健センター親子教室への専門職員派遣
	財源内訳	国庫支出金 1,039 一般財源 20,226	<要求理由> 発達支援等を実施して、関係者へ有効的な支援体制及び支援方法等を広く普及させ、保育園・幼稚園等への地域支援を含めた事業内容を強化するため、専門職員増員に必要な経費を要求したものです。
	財政局長査定	13,516	<査定内容> 1 発達障害児への支援 13,516 [主な内容] (1) 幼児発達支援手法開発モデル事業の実施 (2) 家族支援プログラム開発事業の実施 (3) 保育園・幼稚園等への出張カンファレンスの実施 (4) 保健センター親子教室への専門職員派遣
	財源内訳	国庫支出金 1,039 一般財源 12,477	<査定理由> 地域支援の拡大に係る経費等は、費用対効果を勘案して精査し、その他は適正であると認められるため要求のとおりとしました。
	市長査定	13,516	<査定内容> 同上
	財源内訳	国庫支出金 1,039 一般財源 12,477	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。